

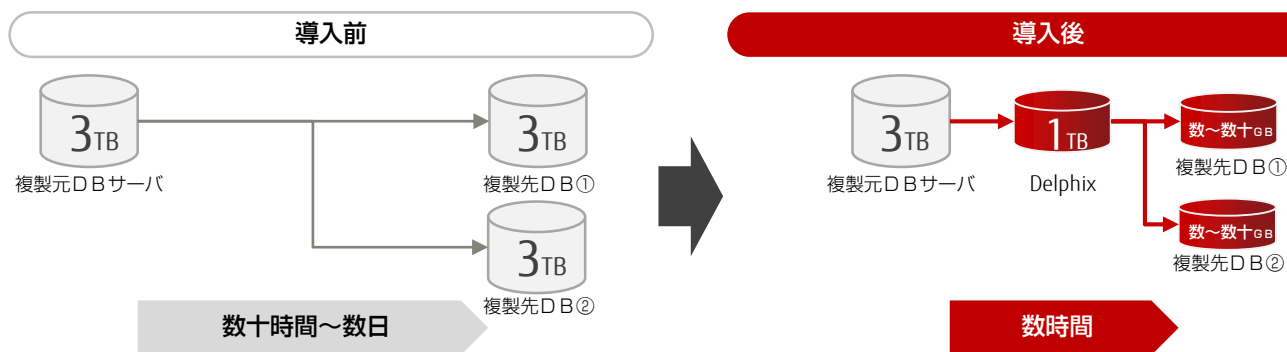
データベース仮想化によるSAPデータ運用の効率化

Delphix Dynamic Data Platform

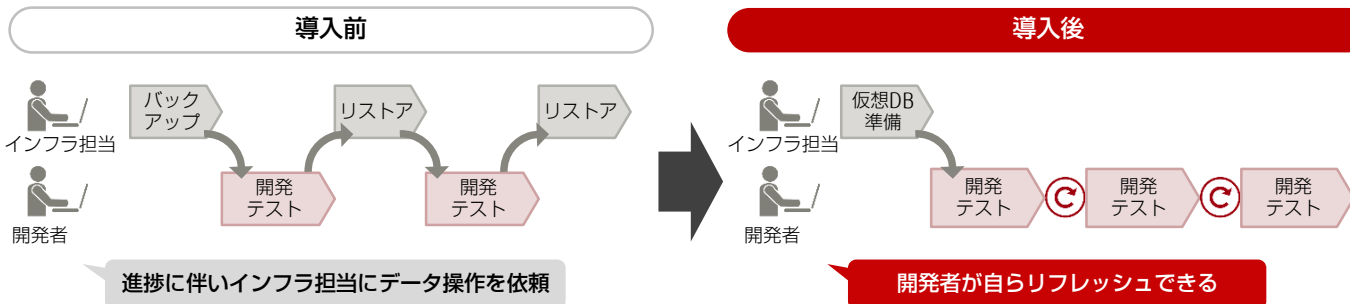
- データベースを仮想化することにより、高品質な検証データを迅速に提供可能
- 操作性の高いGUIおよび一貫性のあるマスキング機能にて、誰でも簡単にデータを安全に活用可能

Delphixの導入によってこう変わります！

開発テスト環境準備時間の短縮、ストレージコストの削減※



開発テストのスピードアップ



Delphix Dynamic Data Platformを導入するメリット

1. 本番データに近い高品質なデータを迅速に少ないディスク容量で提供

- 本番データとの差分同期により、本番システムを停止せずに、本番データ同等の仮想データベースを数分で提供可能。
- 仮想化技術により、仮想データベース分の容量は更新データ分のみとなるためストレージコストを大幅に抑止。

2. 簡易なデータハンドリングにより開発及びテスト効率を向上

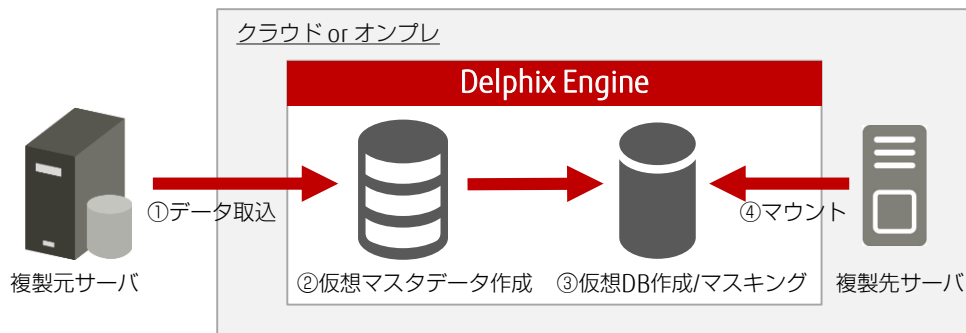
- 直観的に操作可能なセルフサービス専用画面により、インフラ/DB知識なしに開発者自身でデータ運用が可能。
- マウスを数クリックするだけで、データを任意の時点に「巻き戻す」ことが可能。

3. マスキング機能により本番データ利活用のセキュリティを確保

- 一貫性を持ったマスキング機能により、GDPRやHIPAAなどの規制に対応。

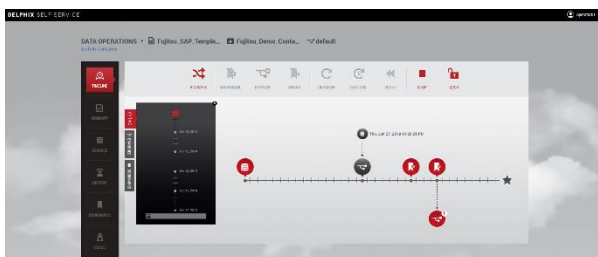
主な機能

- 複製元サーバのデータベースをDelphixエンジンに取り込み、その取り込んだデータを使用して仮想データベースを作成し、複製先サーバにマウントします。



- 開発者が仮想データベースのデータ管理を行えるようセルフサービス専用画面を用意しており、以下のような操作を直感的に行えます。

セルフサービスにて使用できる操作（一例）



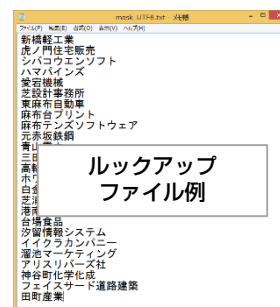
セルフサービス専用画面

操作名	内容
リストア	任意の時点にデータを巻き戻す
ブランチ	任意の時点からデータを分岐させる
リフレッシュ	最新の仮想マスタのデータにリフレッシュする
ブックマーク	任意の時点に目印をつける

- マスキング専用画面にて、マスクする対象のテーブル設定と置き換えたい情報を羅列したテキストファイル（以下、「ルックアップファイル」）の登録を行うことで、マスキングを容易に行えます。複数のマスキング・アルゴリズムを用意しており、一貫性をもったマスキングや部分的なマスキングについても対応しています。

マスキングにて使用できるアルゴリズム（一例）

アルゴリズム名	内容	使用ケース
Secure Lookup	ルックアップファイルをもとにランダムに置換。マスク対象カラムのレコード件数より少ないデータ数でも置換可能	姓、名など
Mapping	ルックアップファイルの記載順に置換。必ずユニークな値に置換	仕入先名など
Segmented Mapping	部分的にランダム値を生成しユニーク値として置換。ルックアップファイルの準備は不要	カード番号、電話番号の一部分など



利用シーン

システム移行/マイグレーション

開発/テストデータマネジメント (DevOps)

データセキュリティ対策

ユーザートレーニング

トラブルシューティング

レポートデータの統合化・高速化

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※本カタログでは、TMマーク、®マークは表記しておりません。
 ※製品仕様および本カタログの内容は、改良の為、予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）